

# 公益財団法人 松原病院 の現状

令和7年4月1日（火）



代表理事 松原 六郎

多職種カンファレンスで患者の状況を共有する松原代表理事(中央)ら=福井市の松原病院



### 「機能評価」認証を受ける 他機関連携や安全取り組み

福井市の松原病院が、病院設備や医療サービスの充実度を判断する「病院機能評価」の認証を受けた。3回目の更新となった本年度は、特に医療安全に対する取り組みや、他の医療機関との連携など8項目で最高のS評価を得た。5項目以上S評価を受けることは非常に珍しく、同病院は「地域に愛される病院を目指して努力を続けたい」としている。

## 松原病院(福井) 8項目で最高

病院機能評価は、日本医療機能評価機構(東京都)が、書面審査や訪問審査を行い、医療環境や診療の質の確保など約100項目を評価。全項目が標準以上ならば、有効期間5年の認定証を発行する。3月時点で全国8097病院のうち、2138病院が認証を受けた。過去のケースでは2023年度、S評価を5項目以上得た精神科病院は2病院のみだった。

松原病院は09年に初めて認証を受けた。今回のS評価8項目は最多。▽他の医療機関との連携▽地域に向けた医療教育▽医療安全への取り組み▽多職種が協働したケア▽救急医療機能などが認められた。入院初期の段階から多職種によるカンファレンスが実施され、患者の情報共有に努めている点などが優れているとされた。

松原六郎代表理事は、精神科に対する偏見や誤解が無くならないことが課題だとい、「体だけでなく心の医療という面にもっと光が当たるように努力したい」と話している。

(杉本拓磨)

### 前庭リハビリ



左右に指  
反対



※目白大耳科  
伏木宏彰院



「めまご相談医」を探して受診するのが望ましいこと。

### ◆ 感染症情報 ◆

(3月17日~23日)

# 県内ワイド

## 県内の交通事故

1日	
事故総件数	53件
人身事故	2件
死者	0人
負傷者	2人

今年累計

## アルコール依存症の体験語る

アルコール依存症を公表しているアイドルグループ「TOKIO」の元メンバー山口達也さんが2日、福井市のアオッサで「セカンドチャンスを目指して」と題して講演した。来場した約530人を前に、自らの依存症体験を語った。

山口さんは2018年に不祥事で芸能界を去り、20年に酒を飲んでバイクを運転したとして道交法違反(酒気帯び運転)の罪で略式起訴された。その後、専門病院で依存

### 山口達也さん 福井で講演 「不安が全ての始まり」

症を宣告されたのを機に症状を受け止めて、断酒に励んでいる。

山口さんは「20代は仲間が増えてお酒が楽しかったが、30代半ばから家で1人で飲むようになり、記憶が飛ぶこともあった。40代は酔うために酒を使っていた」と振り返り、「自助会での依存者との出会いを通じて、全ての始まりは不安で、自己肯定感が低かったことに気付いた」と述べた。

その上で「過去と他人は変えられないが、自分と未来は変えられる。芸能界を去った時、自分が講演する姿は想像していなかったが、いろいろな人が自分を引き上げてくれた」と回顧。「自分の考え方が変わると人生が変わっていく。セカンドチャンスは自分でいくらでもつくることができる」と語りかけた。

講演会は松原病院(福井市)が主催した。

(佐久間博康)



アルコール依存症の体験を話す山口さん。福井市のアオッサで

念

莫疑寸我の



# 目次

- 1. 福井県の現状と当院の沿革・位置づけ**
- 2. 当院の主な機能など**
- 3. 基本理念・基本方針**
- 4. 病棟紹介**
- 5. 主な実績**
- 6. 私たちが大切にしていること**
- 7. 短期目標**
- 8. 中期目標**
- 9. 将来ビジョン**

# 1. 福井県の現状と当院の沿革・位置づけ

## ① 当院の沿革

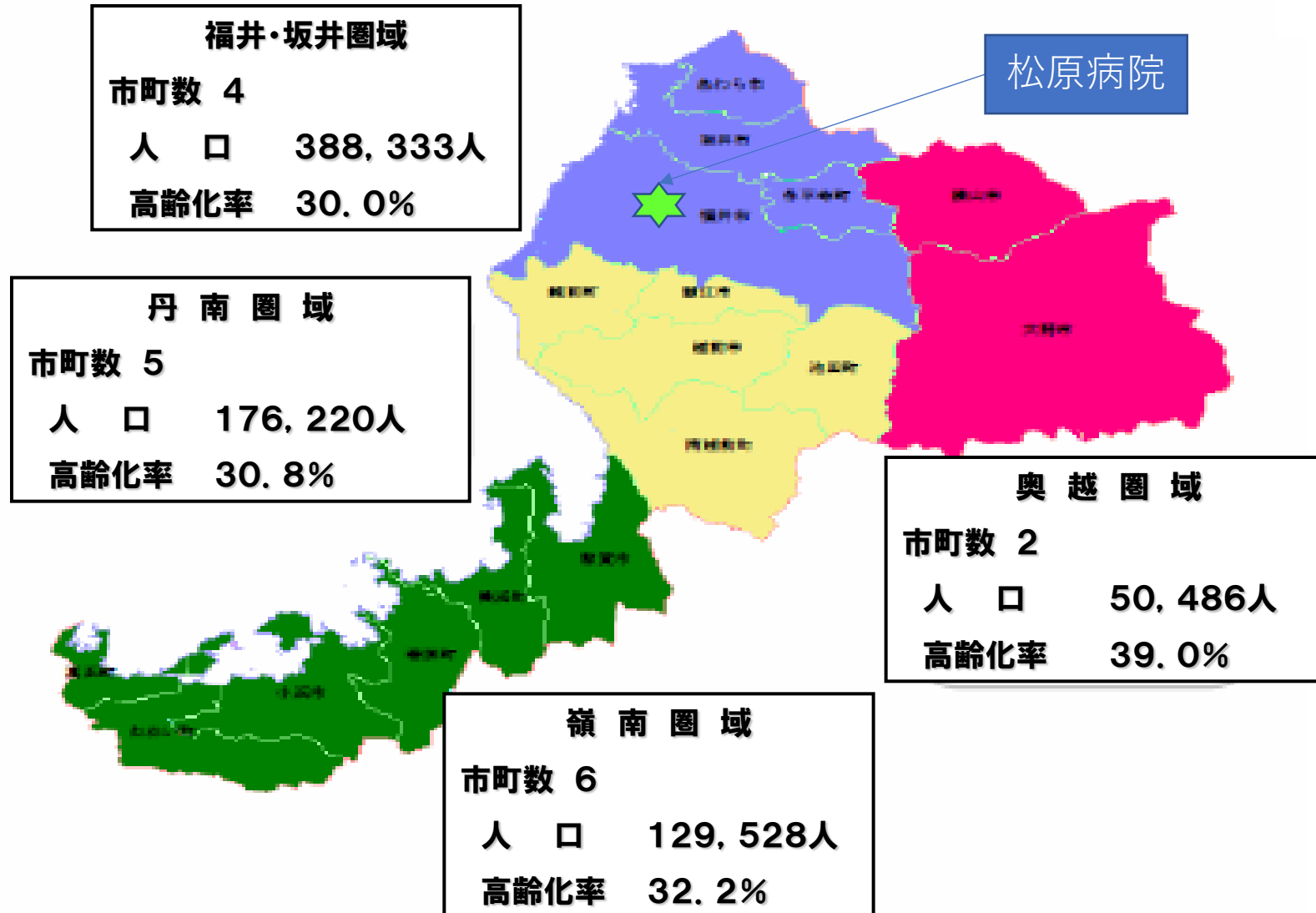
- 昭和28年3月5日 松原病院(院長松原太郎金沢市石引4丁目)の**福井分院**として発足(28床)
- 昭和31年3月7日 **財団法人松原病院**が認可(病床79床), 公益法人として生計困難な家庭の患者さんに対して無料又は低額な料金で診療を行うと共に精神障害者に対する調査研究,精神衛生無料巡回集団検診,医療に従事するものの養成等を行う。(社会福祉事業法第2条第3項第5号)
- 平成24年4月1日 **公益財団法人**が認可.

# 1. 福井県の現状と当院の沿革・位置づけ

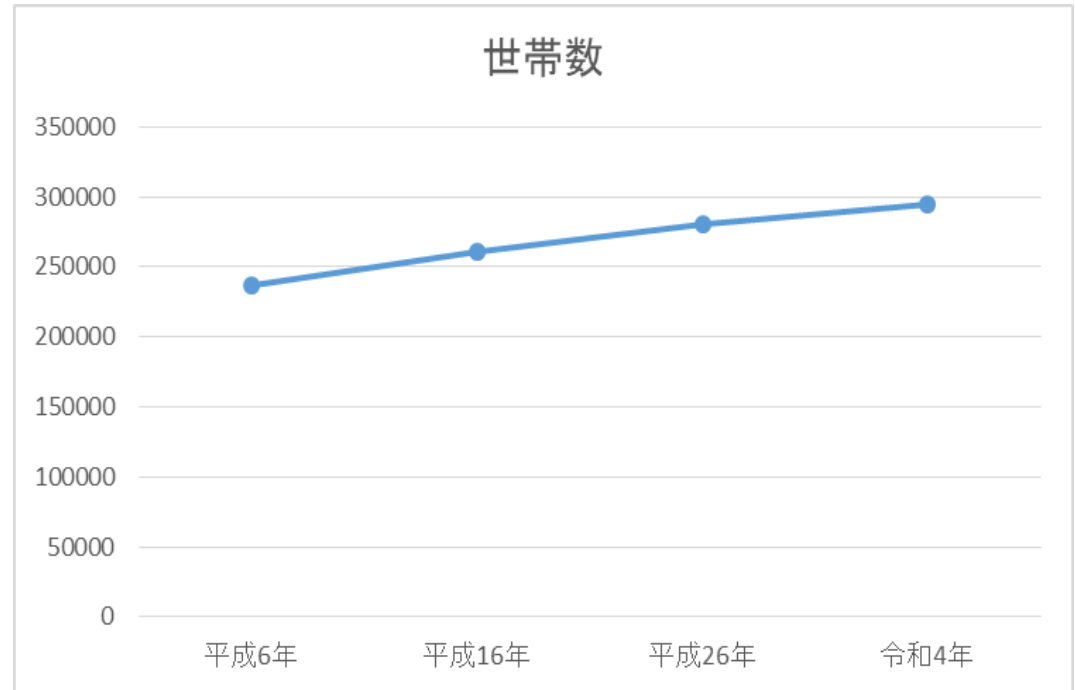
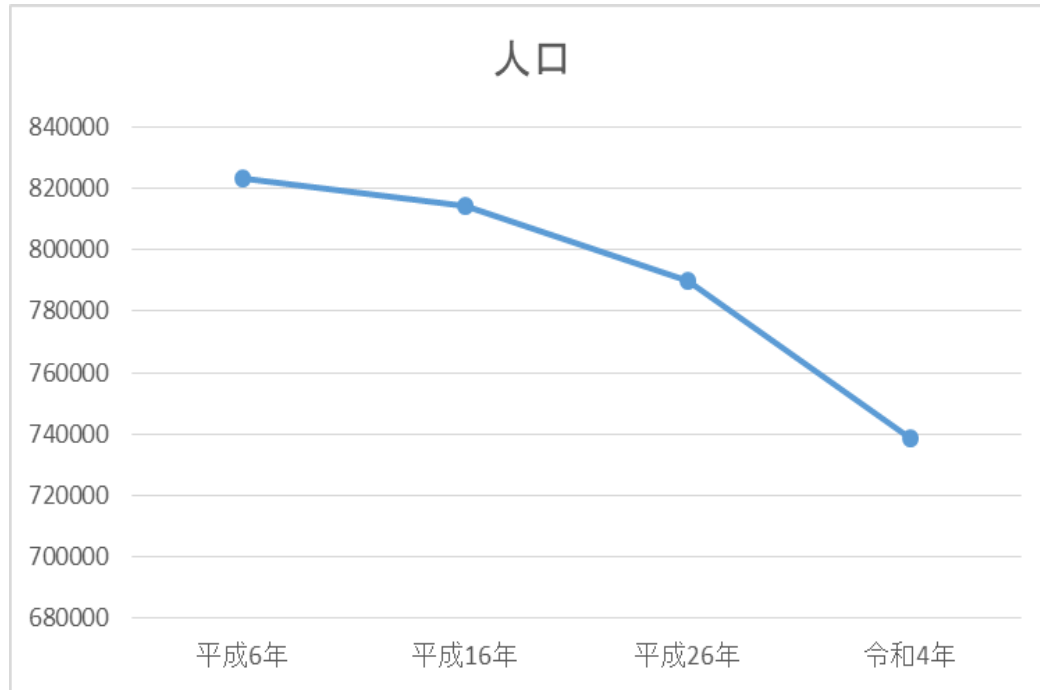
## ② 福井県の医療圏・人口・高齢化率

[福井県障害保健福祉圏域]

令和5年10月1日現在



### ③福井県の人口動態と世帯数



令和4年時点での福井県の人口は73万8千人で、平成12年の82万9千人をピークに減少している。

一方、世帯数は29万4千世帯で、平成12年以降増え続けており、いわゆる核家族化が進んでいる。

また15歳未満人口は昭和60年以降20%を下回り、一方65歳以上の割合は、平成12年頃に20%を超え、**少子高齢化・核家族化の波が続いている。**



## ④福井県の精神科病院及び病床数

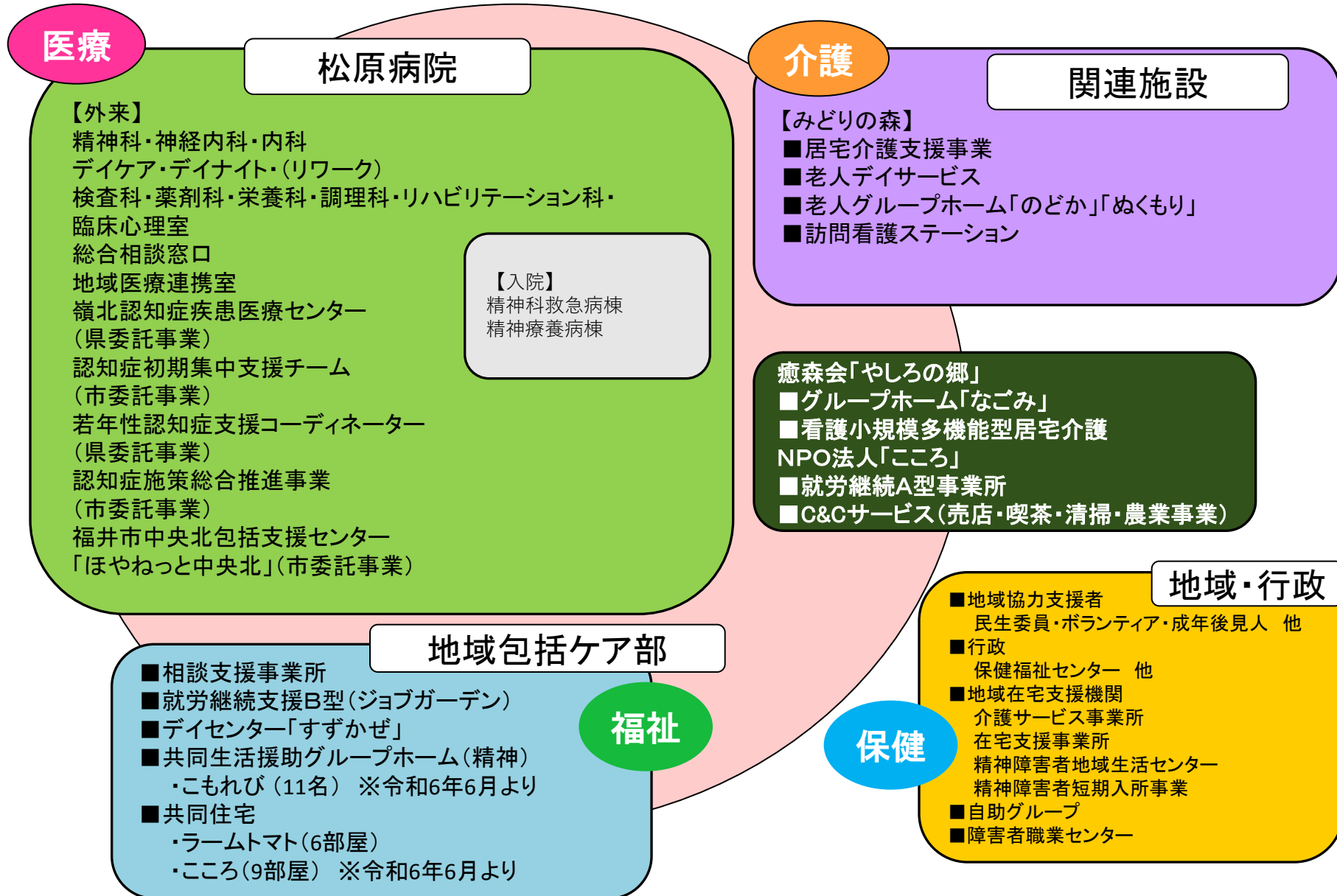
No	病院名	許可病床数
1	福井県立病院こころの医療センター	186
2	松原病院	222
3	福仁会病院	220
4	福井病院	212
5	こころの森病院	96
6	みどりヶ丘病院	198
7	武生記念病院	180
8	猪原病院	111
9	嶺南こころの病院	170
10	公立小浜病院	100
11	福井大学医学部附属病院	41
12	敦賀温泉病院	120
13	福井厚生病院	41
14	たけとう病院	135
15	福井県立すこやかシルバー病院	100
	合計	2,132

令和6年5月現在

## ⑤福井県の精神科救急医療の現状

1. 県内の精神科病院は15病院。  
福井県精神科救急医療当番医制(輪番制)により、嶺北では4病院のみで対応している。当院はうち週3回(月、木、土)輪番制に協力している。
2. また、当番病院が受け入れ困難な場合にも対応できる常時対応病院としても協力している。

## 2. 当院の主な機能（関連施設・地域における関係図）



# スタッフ内訳（法人内）

令和6年3月31日現在

職 種	常勤職員[人]	非常勤職員[人] (パート職員含む)	職 種	常勤職員[人]	非常勤職員[人] (パート職員含む)
医師(精神科・内科・歯科)	13	9※1	理学療法士	1	0
歯科衛生士	1	1	管理栄養士	4	0
看護師	75	5	調理師	18	0
准看護師	8	1	精神保健福祉士	12	1
看護補助者	22	1	社会福祉士	2	0
保健師	3	0	事務員	27	0
薬剤師	4	1	介護員	23	2
薬剤補助者	0	1	介護支援専門員	10	0
臨床検査技師	3	0	指導員・世話人	7	1
放射線技師	2	1	相談員	1	1
公認心理師	7	1	運転手	0	4
作業療法士	11	0	合計	254	30

※1:週1月1の非常勤医師も含む

### 3. 基本理念

患者さんのために、ご家族のために、地域のために、  
私たちは責務を誠実に果たします。  
そして、信頼できる病院、施設を目指します。

#### 基本方針

1. 私たちは、安全で質の高い医療を提供します。
2. 私たちは、医療人として倫理を守り信頼できる医療を提供します。
3. 私たちは、説明と同意に徹し、人権を尊重した安心できる医療を提供します。
4. 私たちは、地域の人たちとともに活動し、開かれた医療を提供します。
5. 私たちは、資源を大切にし、自然にやさしい医療を提供します。

# 2024年度テーマ(重点目標)

## 「チェンジ(変化)」

1. 私たちはポストコロナの世界にむけて、過去の習慣にとらわれず大きく変化します。
2. 私たちは患者さんやご家族とともに、チームワークをもって、新しい治療ステージをめざし、改革します。
3. 私たちはこれまでの業務を見直し、AIなどの技術を駆使し、より安全で効率的な手順を実践します。
4. 私たちは、環境変動を見据え、5S5T運動とともに、災害に強い病院・施設をめざします。

# 2025年度テーマ(重点目標)

## 『笑顔』

**一緒に笑顔の病院(施設)を**

- 1. 患者さんには安らぎを、ご家族には安心を提供しよう**
- 2. 皆が笑顔で働ける清潔で整った職場環境を作ろう**
- 3. 地域の人々に病院(施設)のことを伝えよう**
- 4. 災害時にも頼りになる病院(施設)になろう**
- 5. 安定した経営環境を目指そう**

## 4. 病棟紹介

精神科救急病棟	東病棟4階 (ストレスケア病棟)  東病棟3階	24床  36床 (合計60床)
精神療養病棟	東病棟2階	60床
精神療養病棟	東病棟1階	60床
合 計		180床



# 病院全景



# 精神科救急病棟（ストレスケア病棟）

〔東病棟4階部分〕

ストレス性疾患やうつ病治療を主に行う病棟です。

安静期はストレス等で疲れた心や身体の休養を図り、活動開始期はデイケアやリワーク等などを利用し、多職種が連携して退院に向けた取り組みを行っています。

# 精神科救急病棟

**[東病棟3階部分]**

**急性期症状や重篤な精神疾患に対して治療を行う病棟です。**

**精神療法,薬物療法,作業療法など,チーム医療を  
実践し,症状の安定や軽減を図り,病気の理解を  
促し,早期(3ヶ月以内)に社会復帰できるよう支援  
をしています。**

# 精神療養病棟

**[東1病棟と東2病棟]**

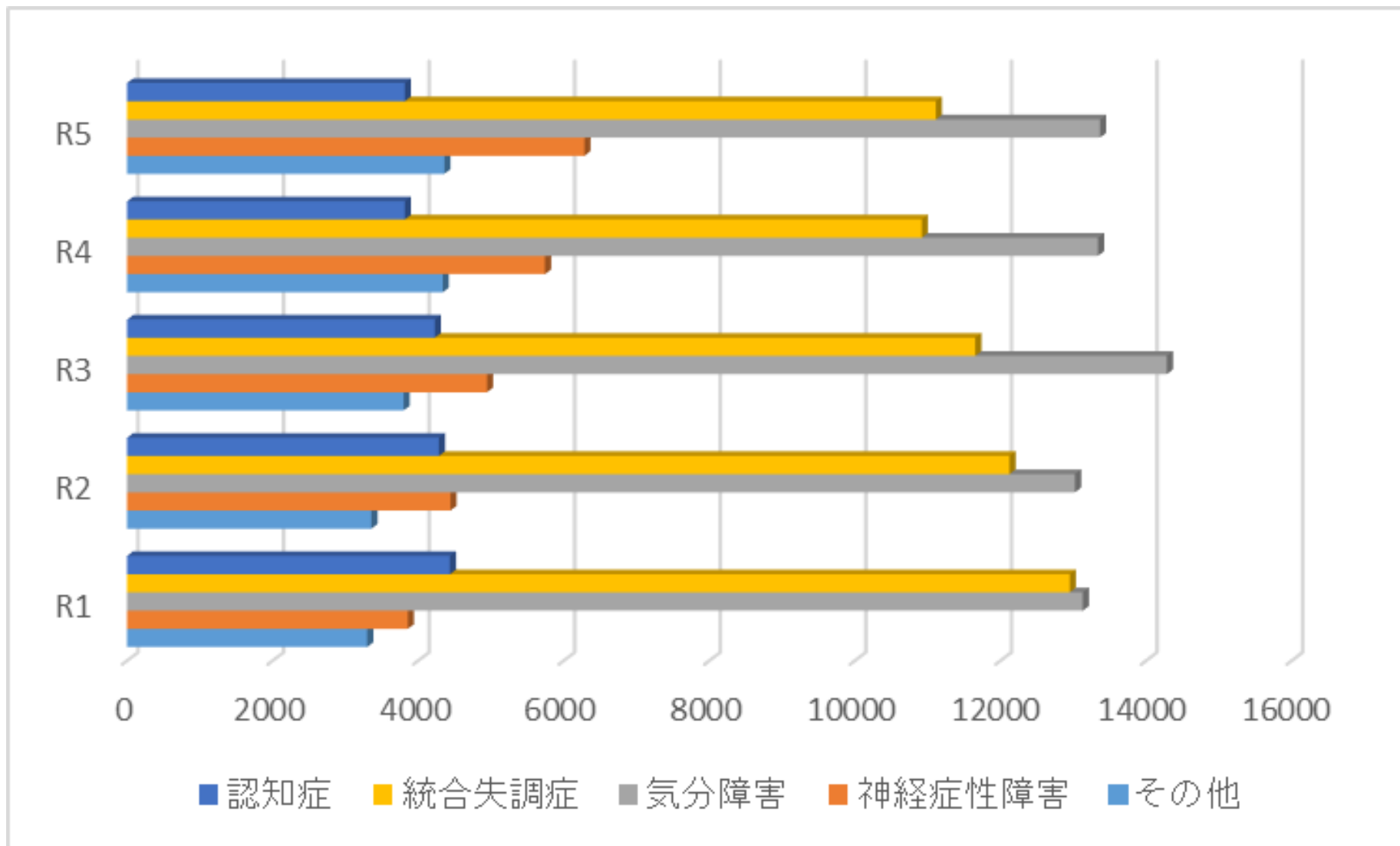
**生活・身体機能の回復を目的とし、精神科リハビリテーション(創作活動,ADL訓練,レクレーション,グループワーク,対人関係技能,SST,社会資源の活用の実践・体験等)を行っている病棟です。  
多職種チームで、在宅やグループホーム等への退院を支援しています。**

## 5. 主な実績

### ① 過去5年間の外来患者数

年 度	延患者数	初診患者数	1日平均患者数
令和5年度	38,744人	791人	158.8人
令和4年度	38,146人	771人	156.3人
令和3年度	38,905人	888人	160.1人
令和2年度	36,924人	758人	151.3人
令和元年度	37,669人	675人	157.0人

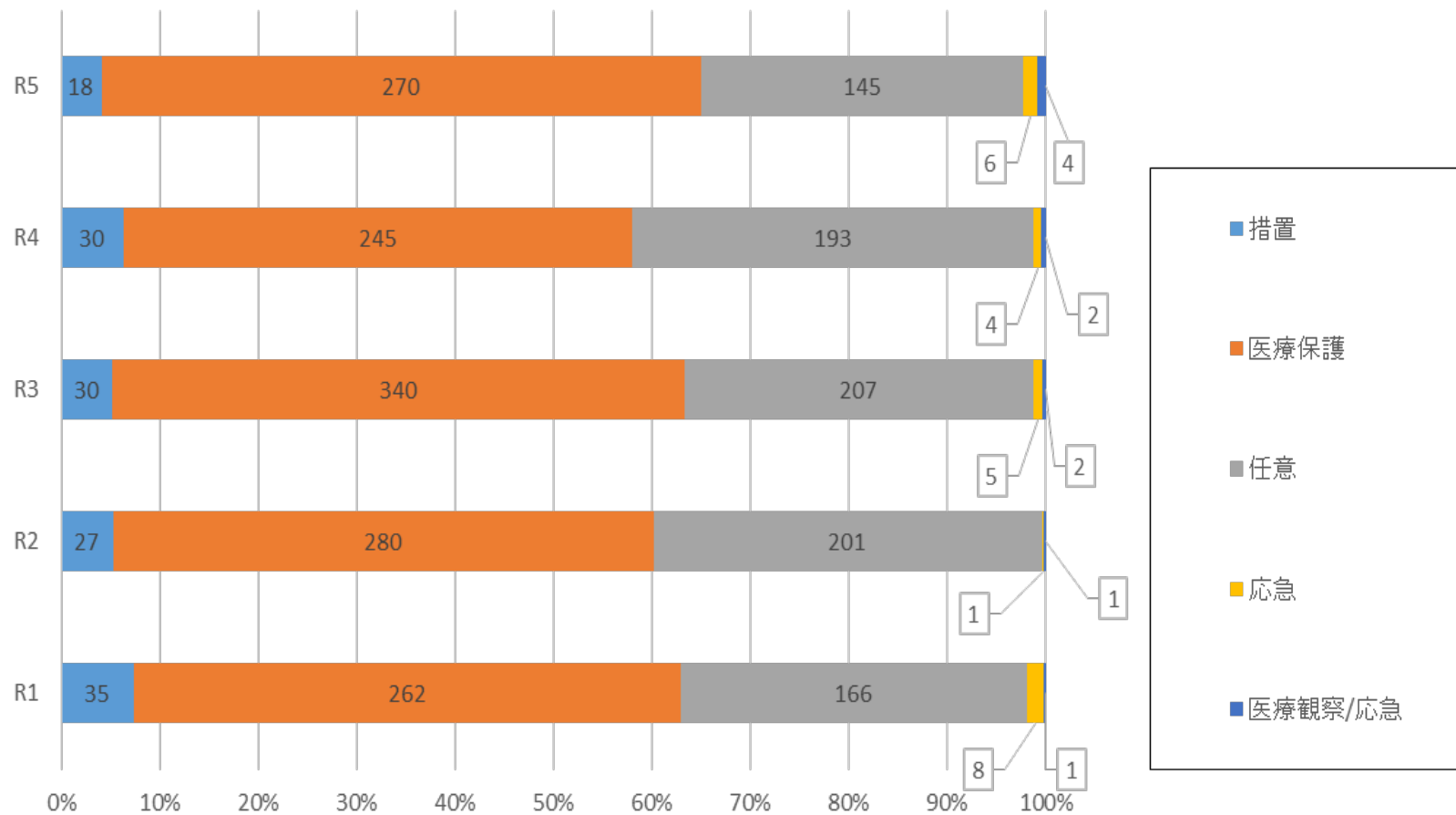
## ②過去5年間の外来疾患別内訳



### ③過去5年間の入退院患者数

年 度	許可 病床	稼動 病床	入院患者数 (年)	退院患者数 (年)	平均 入院者数	平均 在院日数
令和5年度	222	170	443人	419人	160.2人	124.3日
令和4年度	222	150	474人	525人	138.0人	125.0日
令和3年度	222	204	584人	608人	203.9人	112.2日
令和2年度	233	232	510人	520人	207.6人	95.0日
令和元年度	245	232	472人	474人	214.8人	123.2日

## ④過去5年間の入院形態





## 6. 私達が大切にしていること

- ①安全な医療の提供
- ②患者さんの人権の尊重
- ③質の高い医療の提供
- ④計画を実行するためのプロセス

## ①安全な医療の提供

- 常に安全への意識を持つ
- インシデントレポートを提出する
- 常に手順を守る  
(しっかりとした手順書作り,チェックリスト活用)
- 状態の観察と会話を怠らない
- 清潔,整頓が守られている  
(職場環境をきれいにすることは自分の役目)

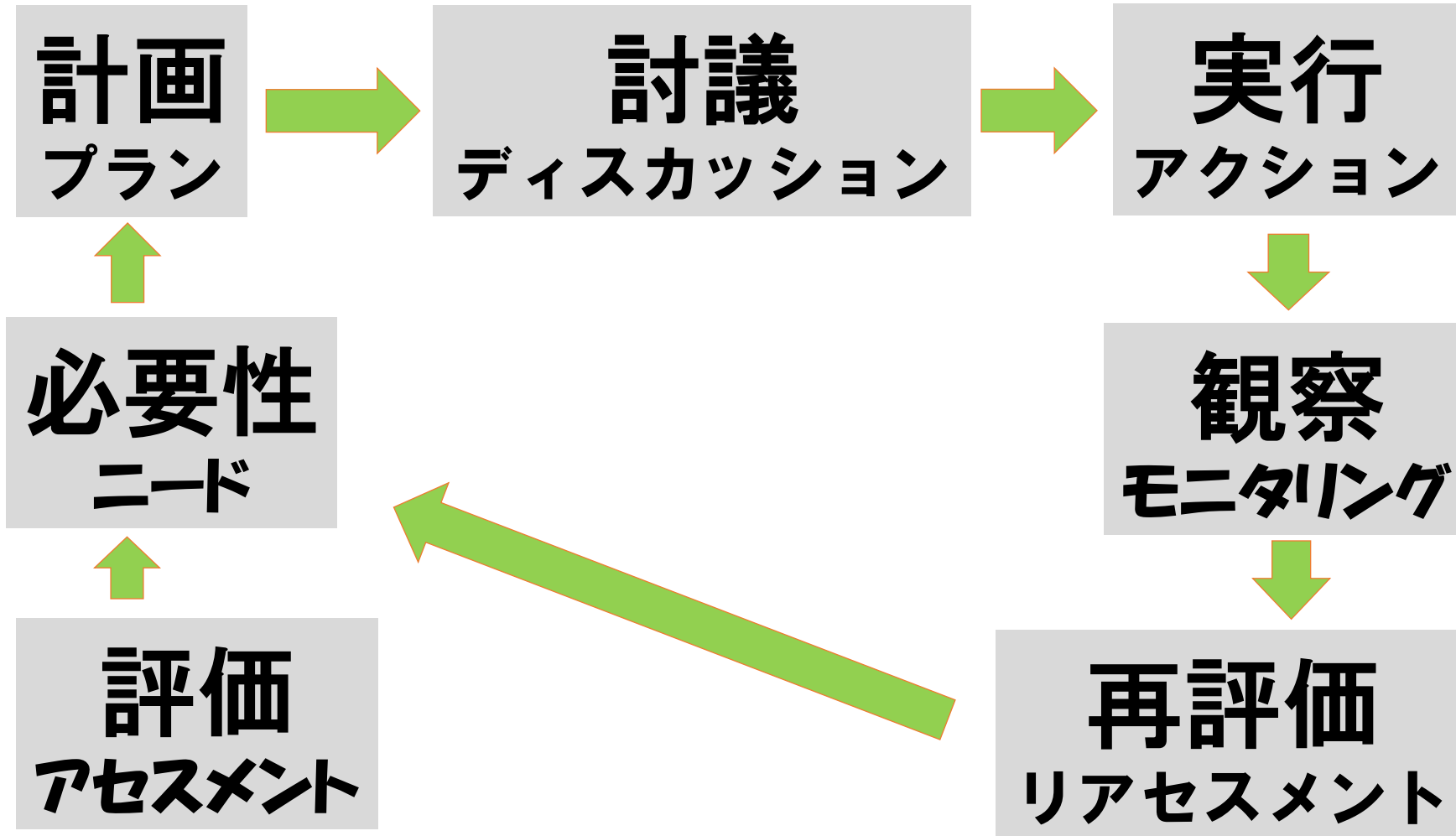
## ②患者さんの人権の尊重

- **ていねい語, 尊敬語を常に忘れない**
- **人間としてあたりまえのことを守る  
(自分がされると思っで行う)**
- **手順を頭に入れる  
(なぜ, それを行うかを考える)**
- **何をしたかの記録を怠らない**
- **会話を絶やさない**

### ③ 質の高い医療の提供

- ・アセスメントから始まる思考の循環
- ・クリティカルパス(クリニカルパス)
- ・国立精神神経医療研究センターPEKOシステム  
に参加
- ・フラズアルファのケア

## ④ 計画実行のプロセス



# 7. 短期目標

1. 経営改革	病床数の回復
	外来患者増強
2. 救急病棟の拡充	保護室の改修
	合併症対応(内科,検査,夜間休日)
	ストレスケア病棟(東4)心理強化
3. 神経科の拡充	特殊疾患病棟開設検討
	専門外来の設置
	MRI,脳波,神経伝導速度利用促進
	眼圧,視力,聴力設備の利用促進
4. 医療レベルの向上	マンツーマン(担当制)の強化
	認定や専門看護師の養成
	屋根瓦方式の教育体制整備
5. 体制充実	感染対策,安全対策,プライバシー強化
	BCP,災害支援の充実

## 8. 中期目標

1. アウトリーチの拡充	訪問診療,訪問看護の強化
	歯科,OT,PTなどの訪問支援
2. 専門外来の設置	物忘れ外来
	小児外来,発達障害外来
	不眠症外来
	障害歯科
3. 診療設備の充実	病棟外来棟建築の準備
	運動施設,地域交流施設
	地域パスの浸透
4. 若きスタッフの養成	専門スタッフの養成
	専門資格,認定資格の取得

## 9. 将来ビジョン

- 1. 採算の回復**  
歯科に続き,介護系,福祉系の施設の縮小を進める
- 2. 病床数の回復**  
看護師,外国人の雇用を積極的に進める
- 3. 合併症対策**  
身体合併症に対応できる医師の確保をめざす
- 4. 設備の改善**  
ナースコールがナースのピッチに直接届くような設備を導入する
- 5. 世代交代に支障のないような若い人材の確保と教育を行う**



# ONE TEAM !

**患者さんのため、患者さん家族のため、  
地域のために、職員が一丸となって  
チーム医療に取り組んでいます。**